

薬用資源学研究室

- 安全で高品質な薬用作物の生産を目指し、農学を基礎として従来とは異なった視点から生薬の栽培生産を研究しています。
- 今年はコロナ禍の影響を受け、前学期は遠隔授業、後学期は実験のみ対面で行いました。

薬用植物の発芽実験



研究室から送られてきた発芽実験パック。
中に4種類の薬用植物の種子と実験道具が入っています。



キバナオウギの発芽の様子。
播種二日後に8割以上の種子が発芽しました。



ハトムギの出芽の様子。
ペットボトルを使用し栽培していました。

ハトムギの収穫・デンプン定性分析



ハトムギの生育調査の様子。
草丈、茎数を計測した後に収穫作業を行い、地上部重や種子数等を調査しました。
この調査で、肥料の成分による植物への影響を学びました。

ハトムギ等の穀類のデンプン定性分析の結果。
デンプンとヨウ素試液が反応する際に、アミロースは青色に呈したが、アミロペクチンは赤紫色（実際ピンク色に近い）でした。
※空白はヨウ素試液のみ含有する。

